広範な抗菌スペクトラムを有する殺菌剤

ベルクート®水和剤

多くの病害に対して優れた予防効果。

適用作物が多く使用しやすい。
従来の薬剤と異なる作用性を有するため、
各種薬剤耐性菌に対しても有効。

BELLKUTE WETTABLE POWDER

［広範な抗菌スペクトラムを有する殺菌剤］

ベルクート® 水和剤

農林水産省登録　第18821号

有効成分：イミノクタジンアルベシル酸塩…40.0%

殺菌剤分類 M7

人畜毒性：普通物

（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

■適用病害と使用方法

＊印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤及びイミノクタジンを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数（倍）	使用液量（ℓ/10a）	使用時期＊	総使用回数＊ 本剤	総使用回数＊ イミノクタジン	使用方法
りんご	黒星病、斑点落葉病	1,000～2,000	200～700	前日	6回（開花期以降散布は3回）	8回（液剤及び水和剤は合計6回（開花期以降は3回）塗布剤は2回）	散布
	輪紋病、褐斑病、すす点病、すす斑病、黒点病	1,000					
なし	黒斑病、黒星病、輪紋病、うどんこ病	1,000～1,500		14日	5回	5回（塗布剤は2回、液剤は1回）	
もも	黒星病	2,000		前日	3回	3回（休眠期は1回）	
	灰星病、ホモプシス腐敗病、うどんこ病 すすかび病、果実赤点病	1,000～2,000					
おうとう	灰星病	1,000		7日		3回	
みかん	灰色かび病	1,000～2,000		前日			
	そうか病	1,000					
かんきつ（みかんを除く）	灰色かび病	2,000			2回	2回	
あけび（果実）	うどんこ病	3,000		14日			
かき	炭疽病、落葉病、うどんこ病 灰色かび病、すす点病、黒星病	1,000～1,500			3回	3回	
キウイフルーツ	果実軟腐病、灰色かび病 貯蔵病害（灰色かび病）	1,000		前日	5回	5回	
マンゴー	炭疽病			14日	2回	2回	
小粒核果類（うめ、すももを除く）	黒星病、灰星病、灰色かび病、すす斑病 環紋葉枯病	2,000		30日	3回	3回	
うめ	黒星病、灰星病、灰色かび病 すす斑病、環紋葉枯病、枝枯病						
すもも	灰星病	1,000～2,000		3日			
びわ	灰斑病、灰色かび病	1,000		7日			
キャベツ	菌核病	1,000	100～300	14日			
すいか	うどんこ病、つる枯病、菌核病、炭疽病			前日	4回	4回	
メロン	うどんこ病、つる枯病				5回	5回	
かぼちゃ	うどんこ病	1,000～2,000		7日	4回	4回	
ズッキーニ							
きゅうり	褐斑病	2,000		前日	7回	7回	
	うどんこ病、灰色かび病、炭疽病	2,000～4,000					
うり類（漬物用）	うどんこ病、つる枯病、炭疽病			3日	5回	5回	
なす	すすかび病、灰色かび病、うどんこ病	3,000		前日	3回	3回	
アスパラガス	茎枯病、斑点病、褐斑病	1,000	100～500	7日	5回	5回	
たまねぎ	灰色かび病、灰色腐敗病、小菌核病		100～300	前日			
ねぎ	葉枯病、さび病、黒斑病	2,000		30日	3回	3回	
にんにく	葉枯病	1,000～1,500		3日			
にんじん	菌核病	1,000		14日	5回	5回（種子粉衣は1回 無人航空機散布は2回）	
	黒葉枯病	500～1,000					
		―	乾燥種子重量の0.5%	は種前	1回		種子粉衣
トマト	葉かび病、灰色かび病	3,000～6,000	100～300	前日	3回	3回	散布
ミニトマト		6,000			2回	2回	
レタス	灰色かび病、菌核病	1,000～2,000		14日	3回	3回	
いちご	炭疽病、うどんこ病	1,000		育苗期（定植前）	5回	10回（育苗期は5回、本圃では5回）	
	うどんこ病	4,000		前日（生育期）			
豆類（種実）（ただし、だいずを除く）	うどんこ病、炭疽病、褐斑病	1,000		7日	3回	3回	
ばれいしょ	夏疫病	500			5回	5回	
やまのいも	葉渋病	1,000～2,000				5回（種いもへの処理は1回 無人航空機散布は3回）	
	青かび病	―	種いも重量の1%	植付前	1回		種いも粉衣
茶	炭疽病、輪斑病、新梢枯死症（輪斑病菌による）	1,000	200～400	（摘採）7日	2回	2回	散布
たばこ	赤星病、うどんこ病、灰色かび病	1,000～2,000	100～180	10日			
樹木類	炭疽病	1,000	200～700	発病初期	3回	3回	

⚠ 効果・薬害等の注意

- イミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- りんごに使用する場合、芽出し2週間過ぎから落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。
- なしに使用する場合、西洋なし品種ル レクチエではさび果を生じるので使用しないでください。
- もものに使用する場合、缶桃14号などの缶詰用品種では葉に薬斑を生じるので使用しないでください。
- おうとうに使用する場合、着色始期から中期の散布では薬害（着色障害）が生じるおそれがあるので、使用しないでください。
- かきに使用する場合、西村早生では葉に薬斑を生じるので、使用しないでください。
- メロンに使用する場合、交配2～3日前から交配2週間後までの幼果の時期には薬害を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。また若葉への散布や高湿時の散布では、薬害を生じることがあるので注意してください。
- キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると、薬害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては、事前にその適否を確認してください。
- ばらに対して薬害を生じるので、かからないように注意して散布してください。
- 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意して散布してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態、および散布方法に合わせ調節してください。
- 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲・誤食などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 薬液調製時及び使用の際は、保護メガネ、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は、直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに、衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服などは、他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分に注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物への影響：水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないよう調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

※本資料は2022年10月現在の登録内容に基づいています。　2161（22-10）

JAグループ
農協 全農 経済連
全農は登録商標　第4702318号

自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社：〒110-8782 東京都台東区池之端1-4-26 TEL.03-3822-5036
ホームページアドレス　https://www.kumiai-chem.co.jp

最新の登録内容